

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	環境バリアフリー小委員会		主 査 名：岩田三千子 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計運営委員会)		委員長名：田辺新一 主 査 名：岩田三千子
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築環境工学分野のバリアフリーデザインやユニバーサルデザイン空間について、当該分野の新たな研究課題の抽出と重要性を検討することを目的とする。 ・公開の見学会などを企画し、設計事例の収集に努めるとともに、QOLや法律、条令、要綱などにおける高齢者や障がい者に対する建築環境工学分野の内容を把握する。 ・委員の持つそれぞれの分野の研究成果について、委員会を4回開催して情報交換を行う。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：岩田三千子 (摂南大学) 幹事：安部信行 (八戸工業大学) 委員：土川忠浩 (兵庫県立大学)、堀越哲美 (名古屋工業大学)、土田義郎 (金沢工業大学)、 延原理恵 (京都教育大学)、村上泰浩 (崇城大学)、二井るり子 (有限会社プラネットワーク)、 田中直人 (島根大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	143,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv. aij. or. jp/kankyo/s18/	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 小委員会の初回には全員が参加し、委員会の主旨や具体的な目標、今後の方針等について情報を共有することができた。 2. 委員の持つそれぞれの分野の研究成果について情報交換を行った。 3. QOL や法律・条令・要綱などにおける高齢者や障がい者に対する建築環境工学分野の内容について、議論を深めることができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 公開の見学会などの企画・実施には至らなかったため、次年度に企画していきたい。 2. 委員会開催を4回企画していたが、実際には2回のみの実施であった。次年度は実施回数を確保したい。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。
- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>現在は、各委員の持つそれぞれの分野の研究成果について、情報の共有が主目的となっており、目標設定を明確にしながら、メンバー各自で研究活動を進め、情報共有を行っている。これについては、活発な活動で目的が達成されつつある。</p> <p>また、QOL や法律、条例、要綱などにおける高齢者や障がい者に対する建築環境工学分野の内容を把握することに関して、委員会内ではアカデミックスタンダードなどの、ルール・指標づくりを目標として活動を進めている。また、具体的に福祉施設の環境のバリアフリーを視点とした調査分析についても検討を進めている。</p> <p>公開の見学会などの企画や設計事例の収集については、現在計画中であり、今後実施する予定である。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。